

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善(例)

【学 年】 小学校第4・5・6学年

【題材名】 クラブ活動 「むかしの遊びを楽しもう」 (7時間扱い)

【育成する資質・能力】

〔知識及び技能〕	〔思考力, 判断力, 表現力等〕
同好の仲間で行う集団活動を通して興味・関心を追求することのよさや意義について理解するとともに、活動に必要なことを理解し活動の仕方を身に付けるようにする。	共通の興味・関心を追求する活動を楽しく豊かにするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したり、人間関係をよりよく形成したりすることができるようにする。

【主な学習活動と留意点】

前年度からのつながり：4・5年生：上級生に対しあこがれや尊敬の気持ちをもって協力する。

6年生：下級生に対して思いやりの気持ちをもって接する。クラブ活動の運営の中心となる。

働かせる見方・考え方：集団の問題を捉え、よりよい集団生活の構築に向けた実践に結び付けること

段階	学習活動 (時間)	留意点
クラブの設置	新たに立ち上げたいクラブ活動の提案(事前) 条件整備・6年生によるプレゼン・募集・メンバーの決定	<p>生活を振り返り、共通に解決すべき課題を意識化する</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞児童が主体的に計画を考える場面をつくる。 ☞どうしたらメンバーが集まるか、クラブ名を工夫する。
<p>題材：「むかしの遊びにはどんな遊びがあるかを調べて、みんなで仲よく遊ぼう！」</p>		
クラブを楽しむ活動	<p>クラブ活動内容、活動計画、役割分担についての話し合い(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合い活動の経験を生かす <p>クラブ活動の実践(6)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①1時間の活動の見通し ②合意形成 ③実際の活動 ④振り返り 	<p>活動内容等を決めて、みんなで楽しむ場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞どのようにしたらみんなで仲よく遊ぶことができるか、グループで話し合う。 ☞地域のお年寄りから子どもの頃に遊んだ様々な遊びを聴き、一緒にむかしの遊びを体験する。 ☞年齢差によるハンデを付けて、全員が仲よく遊ぶ。
成果の発表等	<p>クラブ活動の成果発表 (事後)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラブ活動の内容によって発表形態を選択 ・昼の放送、展示と解説、ステージ、ブースでの発表 	<p>クラブ活動の成果を発表する → 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞クラブ活動の目標に立ち返り、目標達成のためにどのような工夫をして、目標達成に至ったかをまとめる。 ☞発表形態を選択し、活動してきたことを伝える。 ☞みんなで仲よく遊べた姿を価値付ける。 ☞実践が終わったら振り返りをして、一人一人の頑張りを認め合う。
	振り返り	

次年度へのつながり：次年度のクラブ活動に生かす。特に5学年は、次年度クラブ活動の立ち上げの中心となるので、どのようなクラブを立ち上げるかを構想する。